



A photograph of a retail counter area. In the foreground, a tall, dark digital display stands on the right, showing a product image and text. Behind the counter, a person is visible working. The counter has various items on it, including a red fire extinguisher. The background shows a store interior with shelves and other displays.

Map of the Matsuyama area showing the locations of various hospitals and medical facilities. The map includes labels for P1 through P8, corresponding to the locations listed in the table. Key locations include Matsuyama General Hospital (North Building), Matsuyama General Hospital (South Building), and Matsuyama General Hospital (South Building) (Sawashiro Building).

次回開催	2019年3月26日(火) 14時00分～
場 所	社会医療法人蘇西厚生会 まつなみ健康増進クリニック 1階 化学療法室ラウンジ
お問い合わせ	058-388-0111(代) がん化学療法看護認定看護師 野々垣まで

FAX 058-388-4711



院内感染対策室特集 | 院内感染を引き起こさないためのチーム医療を展開しています



当院のような総合病院には、さまざまな疾患を有した患者さんが集まり、また、すべての患者さんの感染症を調べられないため、免疫力が低下した方が感染する、いわゆる「院内感染」を引き起こすリスクが潜んでいます。このような院内感染を防ぐために活動しているのが、「ICT:院内感染対策チーム」です。ICTとは、Infection Control Teamの頭文字をとって名付けられたチームで、医師、感染管理認定看護師、薬剤師、臨床検査技師の4職種で構成され、少人数の実働性の高い専門家チームです。

主な活動内容として、週2回医療現場で起こっている感染に関する課題を解決するために話し合う「ICT会議」と、週1回病棟を巡回し、何か問題や改善点があれば、その場で指導・助言などを行う「病棟ラウンド」などがあります。そのほか、院内感染対策の質を高めるために、外部から専門家を招いて講習会を行ったり、院外研修の日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会への積極的参加なども行っており、その“Saizen”研究会において「ベストプラクティス賞」の表彰を昨年度と今年度の2年連続で受けています。

また、昨年4月より「AST:抗菌薬適正使用支援チーム」が発足しました。ASTとは、Antimicrobial Stewardship Teamの頭文字をとって名付けられたチームで、ICTと同じく医師、感染管理認定看護師、薬剤師、臨床検査技師の職種で構成されています。現状は、院内で抗菌薬が適正使用されるよう、週1回カンファレンスを行うことなどが主な活動です。

患者さんや患者さんのご家族、職員など病院に関わるすべての人を感染から守るために、日々活動をしています。

ICT会議

週2回、医療現場で発生している感染に関する課題を、ICTメンバーである医師、感染管理認定看護師、薬剤師、臨床検査技師で話し合い、対応にあたっています。行政等に届出が必要な感染症への対応や、活動方針、感染防止対策の基準や手順などを立案・実行・評価し、多職種での議論をしたうえで、課題解決に向けて活動しています。



病棟ラウンド

チェックリストをもとに、院内全病棟の環境衛生の確認、清潔度合、汚染物品の管理方法の確認などが適正に行われているかの巡回を、週1回行っています。改善・指導の余地があれば、その場でフィードバックを行なっています。そのほか、各病棟で各種感染症情報の確認を行い、そこから挙がった問題をICT会議の議題に挙げ、対応にあたっています。



インフルエンザを発症しないために

2019年を迎え、インフルエンザが猛威を振るい始めました。2019年1月第4週目時点で、岐阜県内の小中学校約90施設で、インフルエンザによる学級閉鎖が確認されています。インフルエンザのピークは12月～3月頃とされており、まだまだ注意が必要です。

では、インフルエンザを発症しないためには、これからの時期どのように過ごせばいいのでしょうか。インフルエンザウイルスが活発になる一番の要因として挙げられるのが、“空気乾燥”です。特に、今のような冬の時期は、乾燥しやすく加湿器などで適度な湿度(50%～60%)を保つことが大切です。そのほか、従来から言われている“手洗い”や“咳エチケット”(「咳やくしゃみをするときは、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで鼻や口を覆う」、「咳やくしゃみが出ているときはマスクを着用する」、「人混みを避ける」、「十分な栄養と睡眠の確保」が挙げられます。特に不衛生な手指で目・鼻・口に触れないことが重要です。

日頃から、体調・生活環境を整え抵抗力をつけることが、重要な予防策です。ただ、どんなに気をつけていても、インフルエンザを発症してしまうことがあります。早期治療が大切ですので、少しでも体調の異変に気づかれたときは、できるだけ早く受診をお願いいたします。



スタッフ紹介



医師
日置 敦巳
ICT AST
・ICD(院内感染対策専門医療従事者)



医師
浅野 剛之
ICT AST
・ICD(院内感染対策専門医療従事者)
・日本化学療法学会:抗菌化学療法指導医



医師
八十川 雄図
ICT AST
・ICD(院内感染対策専門医療従事者)



医師
岩田 暁
ICT AST
・ICD(院内感染対策専門医療従事者)
・日本感染症学会:感染症専門医



看護師
文字 雅義
ICT
・感染管理認定看護師



看護師
加納 美津子
ICT AST
・感染管理認定看護師



薬剤師
黒宮 浩嗣
AST
・抗菌化学療法認定薬剤師



薬剤師
堀場 ちひろ
ICT AST



薬剤師
野田 佳那
ICT AST



臨床検査技師
宮崎 崇
ICT AST



臨床検査技師
岡田 絵里加
ICT AST